

- 大学入学共通テストは間もなく
- 10月、11月の模試の結果(1・2・3年生)
- 大学共通テストチャレンジ(1・2年生)

## 「人生の楽しみ方」

保健体育科 木原 奎吾

こんにちは。保健体育科の木原です。私はよく生徒から「木原先生って人生楽しそうだよなー」と言われます。本当のことを言います。人生めちゃくちゃ楽しいです！！なので、今回は私の人生を楽しむコツを書きたいと思います。

まず知ってもらいたいことがあります。というより生徒の皆さんは気づいていると思いますが私はめちゃくちゃ不器用です。体育の授業ではバドミントンで生徒にボコボコにされるわ、テニスのサーブで空振りして頭にボールが当たるわ散々です。保健でも世界が止まったと錯覚するぐらいすべったこともあります。そんな私でも今すごく人生を楽しめることができます。それは感謝の気持ちを常に持っているからです。木原流、人生を楽しむ極意は感謝にあったのです！正直、先生になってからはうまくいかないことばかりで、何度も壁にぶつかり自信を失くしてばかりです。でもそんな時こそ、人に物事に感謝するべきだと私は思います。高すぎる壁にも、自分を成長させてくれるチャンスをくれてありがとう。失敗した自分にも、成功のチャンスをくれてありがとう。そして周りの先生や生徒に、成長させてくれてありがとう。と感謝しています。そうすると「なんかよくわからないけど勇気が湧いてきたぞ！！」となってきます。辛いときは前向きに物事を考えてみてください。そうすると気持ちも前向きになってきます。そしてさらに大切なことがあります。それは人生うまくいっているときこそ周りに感謝してみてください。今自分が成功しているは自分だけの力ではないはずです。決して天狗にならず周りに愛される人になってください。

全員にこの考え方がフィットするかわかりませんが、ぜひ人生うまくいかないなと思った時は感謝の気持ちを持って前向きに考えてみてください。人生うまくいっている人も感謝の気持ちを持ち更なる成功を掴んでください。私が今、先生という仕事を楽しいと思えるのはみなさんのおかげです。毎日ワクワクをくれてありがとう！！

## ○大学入学共通テストは間もなく

大学入学共通テストが約3週間後に迫ってきました。先日、受験票と冊子『受験上の注意』が配布されました。そこで、受験までの注意点を3つあげます。

### ①『受験上の注意』を熟読しよう。

表紙の冒頭に書いてある通り、『受験案内』（9月配布、出願票が挟んであった冊子）とともに、冬休み中、よく読んでおきましょう。

②試験会場の下見をしておこう。

試験会場は受験票に載っています。今年度、新宿生は、東京農工大学小金井キャンパス、亜細亜大学、成蹊大学の3つに分かれました。冬休み中に、行き方を調べたり、下見に行くことをお勧めします。

③規則正しい生活を送ろう。

共通テストの試験時間は、最長で9:30に始まり18:10まであります。学力以外に気力・体力が必要です。また、朝から頭が働く状態も必要です。そのためにも、冬休み中の規則正しい生活を心がけましょう。

大学共通テストの受験上の諸注意は、1月10日（水）6限の事前指導で、進路指導部から話をします。

一方、私立大学の一般選抜の出願は1月に入るとすぐ始まります。特に、共通テスト利用方式の場合は、共通テスト前に出願〆切が殆どです。既に、出願書類は手に入れている、或いは、確認していると思いますが、出願は余裕を持って行いましょう。

## 〇10月、11月の模試の結果（1・2・3年生）

**3年生**は、12月に入り、10月、11月に実施した河合塾の全統記述模試（国公立2次試験・私大一般選抜向け）とプレ共通テスト模試の結果が届きました。

それによると、全統記述模試は、国公立理系・文系共に平均偏差値が過去5年間で最高、特に、上位層の人数も過去5年間で最多です。私立文系も過去5年間で2番目、上位層の人数は過去5年間で最多です。

プレ共通テスト模試は、国公立理系・文系共に平均偏差値が過去5年間で2番目、上位層の人数は記述模試と同様、過去5年間で最多です。3年生の皆さん、自分の学習に自信を持ちましょう！第一志望校の合格を目指し、気を緩めることなく、冬休み中の学習に全力を集中しましょう。そこで、応援の意味を込めて、『進路のしおり』に載っている先輩の文章を紹介します。「先生方の“現役生は最後の最後まで伸び続ける”という言葉信じましょう。冬くらいに一度先生を疑ったことがあります、実際に共通テスト本番で一番良い点数を取っている人が自分を含め周りに多かったです」。

※全統記述模試の私立理系は、志望者が全統記述模試は14名、プレ共通テスト模試は11名と少なく、経年比較が難しいため記載しておりません。

※プレ共通テスト模試からみる私立大学の志望者数（河合塾の分析結果）は、早慶上理とGMARCHは、一般選抜方式が前年度減、共通テスト方式は前年度比増（概ね110%）です。

※10月、11月に実施した駿台・ベネッセの記述模試と共通テスト模試の結果は、河合塾の模試と同様です。

**2年生**は、英数国総合の平均点偏差値が過去6年間で最高でした。教科ごとの平均点偏差値は、国語が7月の実力テストより上昇、数学と英語は過去6年間で最高でした。日常の学習が順調に進んでいる証拠でしょうか。もちろん、個人ごとに弱点分野があるので注意が必要です。さて、2年生にとって受験0学期が間もなく始まります。来年の受験直前に「2年0学期の勉強の取り組みがあったからこそ、第一志望校合格に成績が届いた」と言えるよう、まずは、英数国の3教科の基礎力を固めるため、少しずつ、努力を積み重ねましょう。

**1年生**は、英数国の平均点偏差値が7月の実力テストより上昇して、過去6年間で2番目でした。教科ごとの平均点偏差値は国数英の全てで上昇し、国語と英語は過去6年間で最高でした。日常の学習が順調に進んでいる証拠でしょうか。もちろん、個人ごとに弱点分野があるので注意が必要です。前号と全く同じことを書きますが、苦手分野が生まれないように、今後の勉強を進めましょう。

## ○大学共通テストチャレンジ（1・2年生）

1月17日（水）大学共通テストチャレンジが実施されます（主催は東進ハイスクール）。これは、共通テストと全く同じ問題を解くものです。その狙いは、本番の試験を体験して、今後のモチベーションアップにつなげることに、学習状況の確認です。1・2年生共に全員受験です。今の自分の実力を試す貴重な機会、自身の目指すレベルを体感する機会です。受験後の見直しも含めて、しっかり取り組みましょう。

なお、今回の問題は共通テストと全く同じではなく、新課程用にアレンジしたものです。時間割（予定）は、以下の通りです。

- ①国語 8:30～10:10 (80分+10分) .. [3]近代以降の文章の問題を追加←次年度の共通テストに合わせる。
- ②英語R 10:15～11:35 (80分) .. [6]差し替え←次年度の共通テスト風の問題に差し替える。
- ③英語L 11:50～12:20 (30分)
- ④数学I A 13:00～14:10 (70分)
- ⑤数学II B 14:25～15:35 (60分+10分) .. [C]の問題を追加←次年度の共通テストに合わせる。

### 先輩からの言葉

## 空飛ぶ仕事 パイロット 40年

31回生 中移慶介

#### ◆空の中が職場。

1979年に新宿高校を卒業後、運輸省（当時）航空大学校を経て国内の航空会社に入社しました。ジャンボジェットから始まりDC10, B777, B787と乗り継いで国際線、国内線を乗務しました。現在はATRという小さなプロペラ機で鹿児島県の離島路線を中心に乗務をしています。これまでのおよそ40年間に仕事を通じて経験したことを少しだけ紹介させていただきます。

#### ◆飛行機の進歩と変遷

今から40年前、私が航空会社に入社した頃はまだまだアナログな時代、レコードにブラウン管のテレビ、電話もまだまだダイヤル式が主流。そんな時代から現在に至るまでの飛行機を取り巻く技術革新はめまぐるしいものでした。外観は大きな違いはありませんが飛行機の中身、各システムの制御や操縦系統、整備技術に関してもコンピューター化が進み、同時に社会の要請に呼応して省エネ化は大きく進歩しています。また大型機による大量輸送から中小型機による路線網の効率化へと社会が求める公共交通機関としての姿も大きく変わりました。

成田空港から遠く太平洋を隔てたアメリカ西海岸に行く航法技術も40年前のジャンボジェットから大きく変わり現在ではGPSを用いた航法が主流です。自動車のカーナビと同じですが飛行機では更に高度の変化も導いてくれます。操縦室に並ぶ多数の計器盤も今の飛行機では数枚の液晶パネルが並ぶだけです。自動操縦もかなり進歩し技術的には無人操縦も可能です。またジェットエンジンから電気モーターにとって代わり飛行できる小型機も開発されています。こうした流れは自動車とよく似ており操縦する者としては少々寂しい気もしますが環境にやさしく安全性はかなり向上しています。

#### ◆操縦室からの眺め

飛行機は自然の中を移動します。雄大な積乱雲を近くで眺めるとその迫力に圧倒されて見とれてしまいますが一度その中に入ると飛行機は激しく揺れます。時速200kmを超えるジェット気流の中を飛行するとちょっとした気流の乱れでもやはり激しく揺れます。離着陸時には強い風や霧などの視界不良が安全飛行を妨げます。積雪は

飛行機の性能を急激に著しく低下させます。私たちはいつも大自然と正面から向き合いながら仕事をしています。ちっぽけな人間の力では大自然の力には到底勝てるわけもなく私たちは常に自然に対しては謙虚に接しなければなりません。でも大自然は私たちに試練だけでなくご褒美もたくさんくれます。

オーロラや流れ星などのなかなか見ることのできない自然現象にも数多く遭遇することができました。なかでも珍しいのは流れ星を正面から見たことです。これは今思い返しても奇跡に近い経験だったと思っています。

10,000メートルの上空からの地上の景色は地図帳をなぞるように見ることができます。着陸のために高度を下げるとその地形は徐々にズームアップされてきます。これまでに国内外60以上の国と地域、100以上の空港に行く機会があり様々な綺麗な地上の景色も見られました。僕が着陸時に世界で一番夜景が綺麗な空港だと思うのは大阪の伊丹空港です。街の灯りに囲まれて高度を下げている様はまるで宝石箱の中に吸い込まれていくようです。

#### ◆お客さま

同じ飛行機でもお客様のご旅行の目的は様々です。政治家や芸能人、スポーツ選手などの著名人もよくお乗りいただきます。台風の影響などで目的地の天候が悪く出発空港に引き返すかもしれないという時に何とか目的地に安全に着陸した後で、お客さまが拍手をして喜ばれていましたよと客室乗務員より聞いたときはほっとして全身の力が抜けたこともありました。新婚旅行や機内で誕生日を迎えられるお客さまに乗務員全員でメッセージカードを書いたりすることも、嬉しいハプニングとして他にたまたま出張で高校の同級生が乗り合わせていたこともこれまでに数回ありました。また貨物機ではF1マシンや競走馬、あるいは高価な美術品などをお預かりしたこともあります。ボジョレーヌーボーやウナギなど季節の届け物を運ぶことも楽しいものです。先般の東京オリンピックの聖火もアテネから空輸してきました。

空港ではいつも飛行機を見送ってくださる人がいらっしゃいます。羽田空港のような大きな空港でも小さな島の空港でも大きな飛行機からでも小さな飛行機からでも、大きく手を振って見送ってくださる笑顔はよくわかります。そんな時私たちは必ず手を振り返します。そして今日もお客さまを安全に目的地までご案内しようと誓い、空の中に駆け上がっていくのです。

(同窓会のご協力を得て「先輩からの言葉」を掲載しています。)

#### ※今後の予定（進路関係）

- 12月25日（月）進路講演会（2年生・視聴覚室）
- 1月5日（金）調査書配布（3年生・各HR教室）
- 10日（水）共通テスト事前指導（3年生・体育館）
- 13日（土）・14日（日）共通テスト（3年生）
- 15日（月）共通テストリサーチ（3年生）
- 17日（水）共通テストチャレンジ（1・2年生）
- 19日（金）共通テストリサーチ返却（3年生・視聴覚室）
- 31日（水）実力テスト（1・2年生）